



JICAミャンマー国イネ保証種子流通促進プロジェクト “Pure CS” Project Photo Letter

No. 25 August 2020



新型コロナウイルス禍での遠隔事業実施が始まり5ヶ月になりました。今月も7月に引き続きプロジェクト対象地でのCS生産に関するレビュー会議や種子圃場の遠隔モニタリングの試験を行いました。現地では、プロジェクトの現地スタッフが農業局の地方事務所を訪問し、会議の準備（インターネット接続、会議参加者との打合せ等）、ファシリテーション、日本の専門家と農業局職員との情報の橋渡し役、種子圃場からの中継映像の発信などに活躍、お陰で概ね所期の目的を達成することができました。今月も現地スタッフの献身的な活動に感謝です。

レビュー会議開催 先月に続き、今月はモウビン、ピャーボン、シュエポーにて、昨年の種子生産の振り返るレビュー会議を開催しました。今回は藤井チーフにも自宅から顔出しとスピーチしてもらいました。C/Pやスタッフも専門家無しで頑張ってくれてますが、張り合いに欠けるという声も聞こえました。あちこちのレビュー会議でオンライン接続し、顔出し、声出しすることで、“繋がっている”ことが少しでも伝わればと思います。



今月も懲りずに種子生産圃場から実況モニタリング中継 まだ田植が始まったばかりですがモウビン、ピャーボン、シュエポーとあちこちの種子生産現場から中継しました（写真左：ピャーボン）。シュエポーのチーパー農場のRS増殖圃場では、きれいに植え付けられてました（写真中）。シュエポーの種子農家圃場からも、スタッフとDOAカウンターパートが中継してくれました（写真右）。今年は降水が少ないためダムの水も不足がちのこと。十分な灌漑用水が得られず、圃場も水が十分にかかっていないように見受けられました。



シュエポー種子センターの建設 JICA円借款事業（AIIP）の一部である種子センターの建屋が9割方完成。運営指導は当技プロが担当予定。です。（写真はチーパー種子農場、8/20）

イエジンDAR BS種子増殖プロットのモニタリング 8/21にイエジンの農業研究局（DAR）育種家種子（BS）プロットから栽培の様子を中継してもらいました。8/27にはDARイネ課関係者とZOOMで繋ぎ、BS増殖プロットで実施された第1回目のモニタリング（兼、圃場審査）結果について意見交換しました。



ミャンマー国内では再び新型コロナウイルス感染者数が増加しているようですが、一日も早く感染者の増加が止まり再び減少に向かうことを祈るばかりです。
【お知らせ】このフォトレター（“Pure CS” Project Photo Letter）がJICAの本プロジェクトHPでもご覧頂けるようになりました！（URL：<https://www.jica.go.jp/project/myanmar/029/newsletter/index.html>）
FB公式サイトも是非ご訪問ください。URL（<https://www.facebook.com/jica.pure.cs.project/>）（編集委）